

有田焼創業400年事業の「スローガン」を決定し、
「プロジェクトロゴ」と「プロモーションムービー」を制作しました！

有田焼創業400年事業推進グループ





市場開拓

- 国際見本市 メゾン・エ・オブジェ出展
- 酒器プロジェクト(酒器ブランドの開発)
- プロユースプロジェクト(プロ用食器の開発)

産業基盤整備

- オランダとの連携等によるプラットフォーム形成
- 価値創造センター機能の強化
- 伝統的な有田焼の再現・復刻

情報発信

- 国内外への情報発信
(ロゴ・映像・WEB 制作)
- 伝統的工芸品全国大会の開催

ARITA EPISODE 2

— 有田焼400年 新しい時代のはじまり —

昨年9月に「有田焼創業400年事業」をキックオフし、
さまざまなプロジェクトがスタートしています。

これまでの400年の歴史を有田焼の「EPISODE 1」と位置づけ、
節目となる創業400年をきっかけに、新しい時代・物語を作っていきます。

それが「ARITA EPISODE 2」です。

有田焼創業400年事業のスローガン「ARITA EPISODE 2」の決定に合わせて、プロジェクトロゴを制作しました。

ARITA
EPISODE 2
BY SAGA PREFECTURE

(制作:7graphic 東 克輝氏)

ARITA
EPISODE 2
BY SAGA PREFECTURE

BASIC_3BLOCK

ARITA EPISODE 2
BY SAGA PREFECTURE

BASIC_2BLOCK

ARITA EPISODE 2 BY SAGA PREFECTURE

BASIC_LINE

伝統[クラシカル]と革新[モダン]の融合をテーマに、オールドフォントにディテール作字をおこない、オリジナルフォントを制作。

このフォントの特徴は、ハネの部分で、器の羽反(はそり)を表現。

3段組みされたロゴは、並べられて焼かれて、窯から姿をあらわす有田焼のダイナミックな感覚をグリット化。

2段組みでも1段組みでも、TPOに合わせて、使い方は自由。

(参考) アレンジバージョン



アレンジバージョンとして、陶片をアイコン化した『ピース・モノグラム』は、ARITAの頭文字“A”を表現するとともに、有田焼400年の歴史における、失敗を恐れない挑戦やイノベーションの象徴として視覚化。

また、大小3つの陶片は、割れた陶片が、ひとつの器になっていく様を表現。

それは、それぞれの窯元が志をひとつにし、新しい《ARITA》を形成していく様であり、伝統と革新が一体となり、未来を志向するもの。

プロモーションムービーの制作

07

400年にわたり、ものづくりの進化と革新を続け、今に引き継がれる有田焼。
悠久の歴史を刻んできた匠の技と伝統の美を、有田の町並みや花鳥風月とともに
描いたプロモーションムービーです。

(制作:チームラボ株式会社)



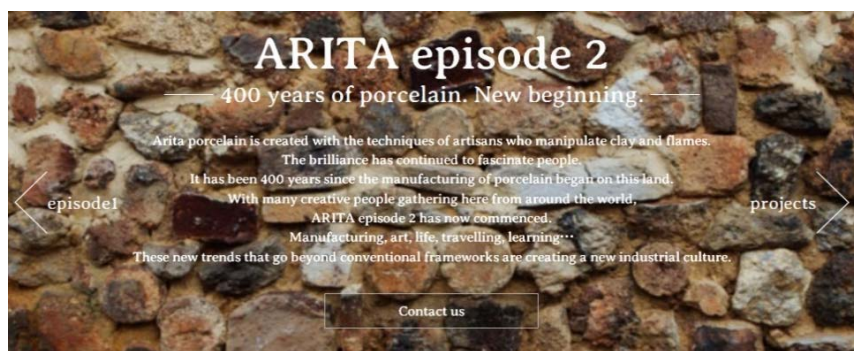
●ムービーのタイトル

ARITA EPISODE 1 (1616-)

(読み方:アリタ エピソード ワン イチロクイチロク)

●今後の活用

WEB上での発信に加え、国内外の主要見本市やプロモーション等で使用し、有田焼のリブランディングに活用します。



有田焼創業400年事業 総合WEBサイト
(ティザーサイト公開済。本サイトは2014秋公開予定)



メゾン・エ・オブジェ
(2014.9開催)



東京インターナショナル
ギフトショー
(2014.9開催)

「世界の有田焼」を実現するため
一丸となって取り組みます！



(お問い合わせ先)

有田焼創業400年事業推進グループ

直通 0952-25-7231 (内線 2242, 2244)

FAX 0952-25-7392

E-mail arita400-g@pref.saga.lg.jp